

平成24年度総会開催 H24.7.17



特別講演
友田教授

協議会会長
富田氏

県商工労働部
松下次長

県BLDコーディネータ
森井氏

㈱ベテル
羽鳥氏

交流会にて

総会会場

7月17日(火)13時30分から、いばらき量子ビーム研究センター(IQBRC)にて、平成24年度の県内中性子利用連絡協議会総会が開催されました。

当日は協議会会員企業のほか、J-PARC関連研究者など総勢63名が参会しました。

冒頭、協議会を代表して富田祐介会長(㈱日本アドバンステクノロジー代表取締役社長)と、茨城県商工労働部・松下博充次長から挨拶があった後、議事に入りました。まず最初に、事務局から伊藤コーディネータが分科会活動に力点を置いた協議会活動計画をご説明しました。

引き続き、茨城県ビームライン産業利用コーディネータの森井幸生氏から、「集合組織・析出構造の測定に向けた取組」と題して、最近の具体的なビームラインの活用事例が紹介されビームライン利用への関心が喚起されました。さらに、㈱ベテル・主任研究員の羽鳥仁人氏から、企業からのJ-PARCへの技術支援例として「ミュオン生成のための黒鉛材における熱拡散率の劣化評価支援」と題して講演がありました。地元企業がJ-PARCと協業した好事例として参加者の関心を集めました。

特別講演として、茨城大学工学部長の友田陽教授から「中性子の産業利用：強度とマイクロ組織の定量的評価」と題して講演戴きました。鉄鋼需要はその国家における文化進展度と比例するという身近な動向解説から説き起こし、鉄鋼等金属材料へのマイクロ分析ツールとして具体的な中性子利用に至る幅広い事例が紹介され、企業関係者の熱い眼差しを感じました。

一連の講演後、関係者が一堂に会して飲み物を片手に交流の機会を持ちました。それぞれが抱える課題や希望などが互いに率直に情報交流されました。

この機会が、企業、大学、主催者など産学官連携の一層の推進の源泉となることが望まれます。

JRR-3, J-PARC・MLF見学会開催

県内中性子利用連絡協議会残留応力分科会主催により7月3日(火)13時30分から、JRR-3 残留応力測定装置及びJ-PARC・MLFの見学会が開催されました。

当日は、まずIQBRCにて、中性子利用と施設概要をJ-PARC・広報セクションリーダー・坂元真一氏から、また中性子による残留応力測定の原理と応用について、(独)日本原子力研究開発機構・弾性塑性材料評価研究グループ鈴木裕士氏から、それぞれご説明と見学のポイントをご教示戴きました。その後、見学者用バスにより構内に入り、前記二氏のほか施設関係者に同行戴き、機器を眼前にしたご説明を受けた後、熱心な質疑応答が繰り広げられました。

約30名の参加者からは、残留応力測定への中性子利用に前向きな検討姿勢も垣間見ることができ、今後J-PARC利用への期待を感じました。



各種企業展示会のご案内 (予告)

● MLFシンポジウムに於ける展示会

10月10日(水)~11日(木)、MLFシンポジウム(東京にて開催)に於いて展示会開催を計画中です。

● JAEAに於ける展示会

10月24日(水)、JAEA構内に於いて研究者を対象とした展示会開催を計画中です。

(いずれも、詳細は別途ご連絡致します。)

イベントのお知らせ

- J-PARCの施設公開 (7/29(日) 9:30~15:30)
http://www.j-parc.jp/ja/topics/2012/jparc_ja.html
- 茨城大学量子セミナー (8/8(水) 13:00~17:00)
<http://www.fas.ibaraki.ac.jp/?p=1328>
- KEK施設の一般公開 (9/2(日) 9:00~16:30)
<http://openhouse.kek.jp/>

会員(法人)異動のお知らせ

(H24年7月20日現在/敬称略)

◆ 新規入会

(合計会員企業数：224社)

- ・(株)日立エンジニアリング・アンド・サービス

小針 利明 (新技術開発推進本部・本部長)

〒317-0073 日立市幸町3-2-2

電話：050-3155-4536 FAX：0294-55-9617